

連合青森東青地協役員『7.28 平和学習会』を開催!!

連合青森東青地協では、7月28日幹事会終了後、地協幹事役員を対象に『7.28平和学習会』を開催しました。

私たちが住んでいる青森市は、昭和20年7月28日に空襲を受け、街は一夜にして一面焼け野原、廃墟と化し、多くの命が失われた決して忘れてはならない歴史があります。

地協役員は、『伝えたい記憶』(富岡せつさん青森空襲体験)をYouTubeにて視聴し、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。



動画



『伝えたい記憶』富岡せつさんの青森空襲体験 (日本語字幕)

YouTube - aokomaki
2020/09/24

YouTubeにて、『青森空襲』を検索すると数多くの映像を視聴することができます。決して忘れてはいけない青森空襲を、是非、学んでいただければと思います。



2021
NEWS
連合青森 東青地協

発行日: 2021.8.19
編集・発行: 東青地域協議会
編集人: 大澤 祥宏

連合青森・東青地協共催 戦後76年『平和学習ツアー』を開催!!

連合青森・東青地協は、1989年の結成以来、悲惨を極めた青森市の空襲を永遠に記憶し、二度と戦争を繰り返すことのないよう平和運動の一環として「7.28平和の集い」を開催してきました。

しかし、今年は昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の対策として従来開催していた「7.28平和の集い」は中止し、戦後76年「平和学習ツアー」として、青森空襲で被害が多くあった青森市内をバスで巡るツアーを企画し、8月7日に実施いたしました。

東青地協からは、地協役員・青年女性役員から7名が参加し、当日は、市内の空襲の際に焼け残った建物や遺構、慰霊碑などをたどりながら「青森空襲を記録する会」今村会長より、青森空襲の惨劇・被災状況について説明を受けました。『1945年7月28日、青森市は米軍の空襲で一夜にして焼け野原となり市街地の90%を焼失、1000名以上の犠牲者を出し、多くの生命と財産が一瞬にして奪われた』という貴重な話や、青森空襲を経験した方が少なくなっており、知っている情報も併せて少なくなってしまうとの話もありました。こうした状況を踏まえ、改めて私たちが、青森空襲で多くの方が犠牲になったことや戦争の悲惨さを後世に伝え、恒久平和を実現していく必要性を強く感じた日となりました。(松原にある中央市民センターに、青森空襲に関する資料室があります)



東青地協Facebookのお知らせ

東青地協 Facebook では、メーデー動画をはじめ各種活動状況を掲載しております。是非、アクセスし、ご確認ください。

東青地協 QRコード ⇒

